

戦
跡
旅
す
る

KANOYA



日本で最も多くの 特攻隊員が飛び立つた 「鹿屋」を訪ねる



(イメージ画像)

戦争が激化すると、昭和20年2月に第五航空艦隊司令部が鹿屋に設置され、鹿屋から各基地へ特別攻撃の命令が下されるようになります。鹿屋基地からは日本で最も多い九〇八名の特別攻撃隊員が出撃し、戦死しました。(現在の海上自衛隊鹿屋航空基地)周辺には、今もなお多くの戦争遺跡が残されています。

戦時中、鹿屋には3つの飛行場(笠原・鹿屋串良)がありました。

なかでも鹿屋基地は、昭和11年に鹿屋海軍航空隊が開隊して以降、上陸洋爆撃から終戦に至るまで海軍の重要な基地として活動し続けました。

昭和16年、真珠湾攻撃の作戦計画

が練られた「鹿屋会談」が鹿屋基地内で行われ、対米戦争が始まるきっかけとなりました。



桜花を積んで出撃する
一式陸上攻撃機(一式陸攻)



世界で唯一現存する
二式大型飛行艇(二式大艇)



①鹿屋航空基地史料館

零式艦上戦闘機五二型(復元機)

まずはココへ！

ドラマ
永遠の0
ロケ地

海軍航空の歴史資料館で、館内には旧海軍創設期から先の大戦、現在の海上自衛隊の活動に至るまでの貴重な資料が展示されています。

【場所】鹿屋市西原3-11-2
【電話】0994-42-0233
【休館】年末年始のみ
【時間】9:00 ~ 17:00
（入館は16:30まで）
【料金】無料



鹿屋市観光物産総合センター

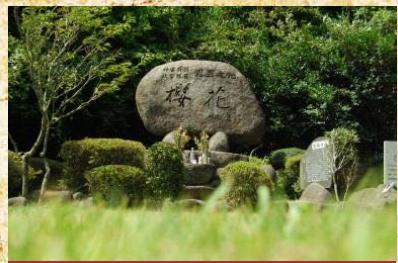
鹿屋航空基地史料館に隣接する物産館。レストランと無料休憩所も完備しています。



③小塚公園(旧鹿屋航空基地特別攻撃隊戦没者慰靈塔)

鹿屋基地から出撃し命を落とした特別攻撃隊員908名の御靈を祀る慰靈塔があり、桜の花咲く4月には慰靈祭が行われています。

【場所】鹿屋市今坂町12560(西原台小学校近く)



②桜花の碑・野里国民学校跡



戦争末期、人間爆弾・桜花作戦を行った神雷部隊は野里国民学校を宿舎としていました。

特別攻撃隊員たちが別れの盃を交わした地に建つ「桜花の碑」は、当時報道班員として神雷部隊と生活を共にした作家・山岡荘八氏が揮毫したもののです。

【場所】鹿屋市野里町(朝日神社隣)



④田崎掩体壕

鹿屋基地の南側に、軍事用の資材を入れていたと思われる掩体壕が残っています。

【場所】鹿屋市田崎町

⑤第五航空艦隊司令部壕跡

この司令部壕から、特別攻撃作戦の作戦指揮が行われました。(私有地のため、壕への立ち入りはできません。)

【場所】鹿屋市新生町



特攻隊の足跡が残る

串良エリヤ



鹿屋市指定文化財

串良基地から飛び立った特別攻撃隊員が突撃前に送る電信を受信していた地下壕です。壕内では現在、音声ガイダンスによるモールス信号の再現など、当時の様子を追体験することができます。

【場所】鹿屋市串良町有里4963-2

【見学可能時間】9:00～16:00(12/29～1/3は見学不可)

①串良基地跡の地下壕第一電信室



②平和公園



串良基地から飛び立ち戦死した特別攻撃隊員・一般攻撃隊員を祀る慰靈塔が建立されています。滑走路跡の2本の直線道路は桜の名所としても知られています。

【場所】鹿屋市串良町有里5660-1



串良基地は、太平洋戦争末期に教育航空隊として開隊され、約五千人の飛行予科練習生が航空機の整備搭乗・通信等の猛訓練を受けました。

昭和19年4月には実戦部隊に編入され、昭和20年3月からは特別攻撃隊の基地として使用されました。

昭和20年8月15日の終戦を迎えるまでに、三五八三名の特別攻撃隊員と二一〇名の一般攻撃隊員が串良基地から飛び立ち、その若く尊い命を失いました。



③大塚山公園

戦争末期、志布志湾からの米軍上陸に備えた部隊が置かれ、観測等が行われていました。頂上付近の展望所からは志布志湾を見渡すことができます。

【場所】鹿屋市串良町有里2918-1



⑥笠野原基地滑走路跡

J A直売所「どつ葉市場」敷地内
【住所】鹿屋市笠之原町7517-1

笠野原基地の滑走路跡に
戦跡案内看板を設置しています。

笠野原飛行場は、大正11年に大刀洗陸軍飛行場(福岡県)の離着陸用の民間飛行場として誕生しました。真珠湾攻撃に参加した第二航空戦隊艦爆撃隊も、この飛行場を使用していましたとされています。昭和20年3月18日以降に米軍による集中爆撃を受けると、格納庫を始めとする基地施設は大きな被害を受けました。東西・南北に一本ずつ滑走路が伸びていてましたが、終戦後に払い下げられ、現在は農地や住宅地が広がっています。

④笠野原基地地下道入口跡

【場所】鹿屋市笠之原町
(笠野原小学校から南へ300m)



幻の基地となつた 笠野原エリヤ



⑤笠野原基地跡の川東掩体壕

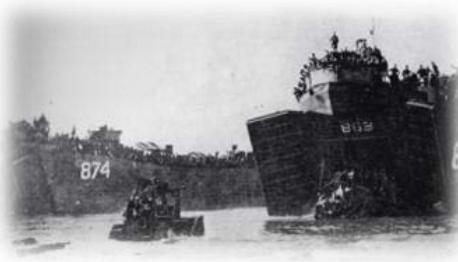
敵機の空襲等から飛行機を守るために作られた格納庫です。
戦時中には零戦が入っていたと言われています。

【場所】鹿屋市川東町8206-5



「戦後」が始まつた地 高須エリア

たかす



進駐軍が上陸した金浜海岸を見下ろすように、記念碑が建っています。
【場所】鹿屋市高須町(県道68号線沿い)

③金浜海岸(進駐軍上陸地の碑)

終戦後の混亂の中、昭和20年9月3日に進駐軍の先遣隊が鹿屋基地に降り立ちます。先遣隊のシリンド佐は、「カミカゼボーイはどこにいるか」と最初に質問したそうです。
そして翌4日、進駐軍アメリカ海兵隊2,500人が高須の金浜海岸に上陸しました。当時鹿屋の多くの人々が進駐軍を恐れ、山間部に逃れたと言われています。



④高須トーチカ

米軍の本土上陸に備えて海岸部に作られたトーチカ(陣地)です。コンクリートのぞき窓は海岸方向に向かっています。

【場所】鹿屋市高須町(高須海水浴場脇)



霧島ヶ丘上空からの写真
(戦時中に米軍機撮影)



霧島ヶ丘展望所

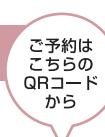
国道269号線から霧島ヶ丘公園に上る坂の中腹から、鹿屋基地や周辺一帯を見渡すことができます。

戦跡のガイド

鹿屋平和学習ガイドが、個人やツアーにおいて、市内に残る戦争遺跡などのご案内をします。(ガイド料は有償)

個人ガイド 3,500円～
団体ガイド 6,000円～

【申込先】鹿屋市観光協会
(TEL:0994-41-7010)



戦跡ガイド
モデルヨース

鹿屋航空基地
史料館

1H



〒893-0064
鹿屋市
西原3丁目11-2
0994-42-0233

1
コース

「笠野原・串良基地跡」 2H
(4箇所・3,500円)

川東揃休壱



2
コース

「鹿屋基地周辺と進駐軍上陸の地」 (4箇所・3,500円)

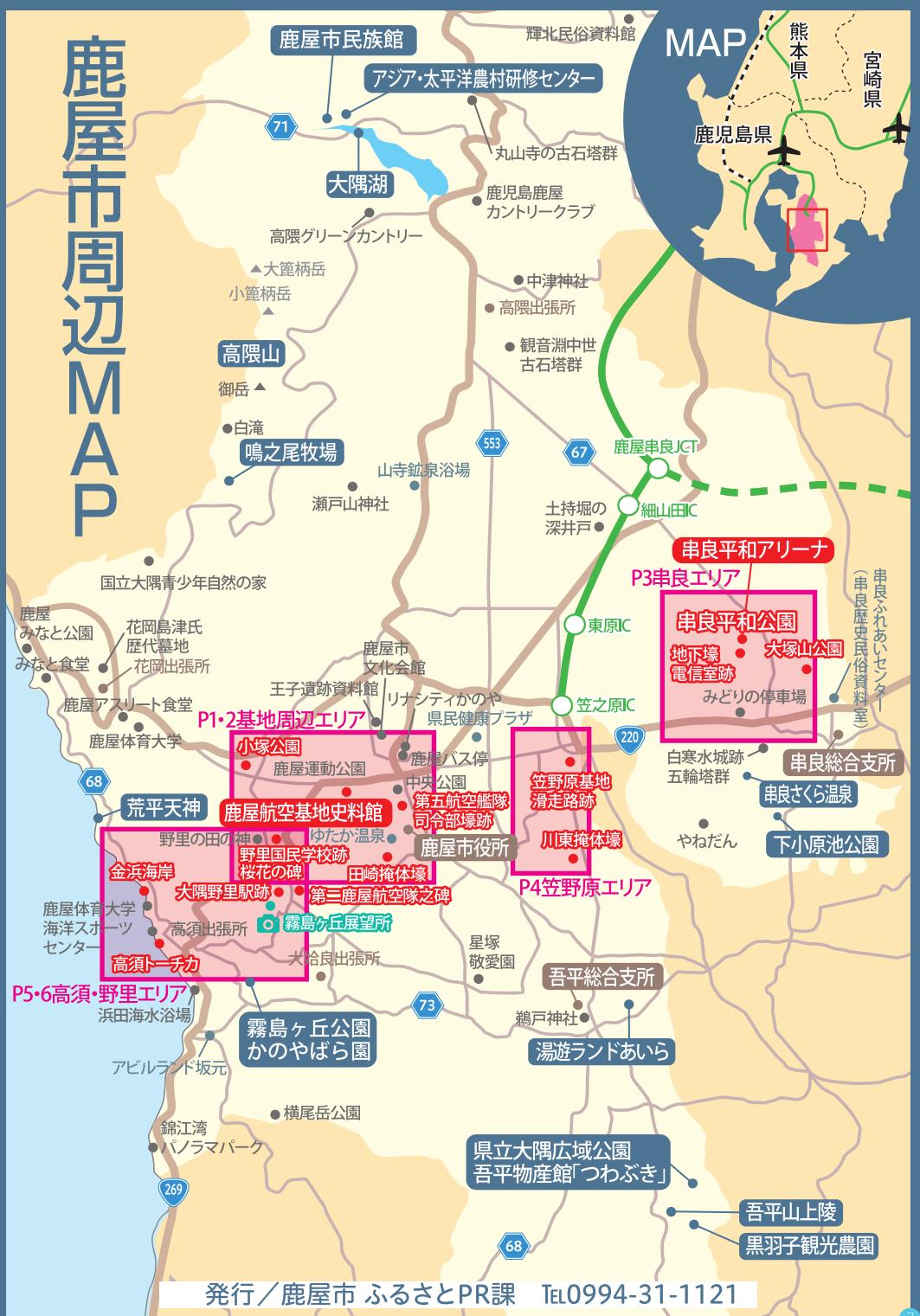
ース (4箇所・3,500円)

小塚公園慰靈塔



6

鹿屋市周辺MAP



発行／鹿屋市 ふるさとPR課 TEL0994-31-1121